

# サステナビリティへの取り組み

## 重要課題（マテリアリティ）

重要課題（マテリアリティ）		方針・目標
環境	環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>PM・BM と協働してエネルギー消費量・温室効果ガス排出量・水消費量・廃棄物排出量の管理と削減を推進する</li> </ul>
	建築性能・環境性能の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な不動産の性能評価及び機能評価を実施し、陳腐化した性能等の更新を行う</li> <li>グリーンビル認証等を取得し、建物性能を可視化することで競争力の維持向上を図る</li> </ul>
社会	魅力ある職場の実現	資産運用会社 <ul style="list-style-type: none"> <li>従業員に対する教育制度の拡充と資格取得の推奨により業務の質の向上を図る</li> <li>オフィス環境改善を継続し、快適な労働環境の提供を推進する</li> <li>ワークライフバランスに配慮し、従業員の満足度向上を図る</li> </ul>
		テナント <ul style="list-style-type: none"> <li>ES（従業員満足度）改善を推進し、テナント従業員の就業満足度の向上に努める</li> </ul>
	福岡・九州の魅力向上や活性化に貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡・九州の強み・魅力の情報発信強化を図る</li> <li>地域経済・産業に関する調査研究の支援や魅力ある街づくりの推進を地元経済界と連携して行う</li> </ul>
	地域社会との共創	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ活動への参加や運用不動産での各種取り組みを通じて、地域社会との対話、連携を深め地域社会とともに発展する</li> </ul>
ガバナンス	ステークホルダーに対する情報開示と対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダーに対して財務情報/非財務情報の適時・適切な情報開示を行う</li> <li>積極的なステークホルダーとの対話を通じた信頼関係の構築を図るとともに、聴取した意見を経営戦略へ反映させる</li> </ul>
	コンプライアンス/リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令等の遵守徹底、利害関係者との間での取引に係る利益相反の排除等のコンプライアンスの遵守徹底と適切なリスクマネジメントを実現する社内体制の整備・運用により、企業価値の維持・向上を目指す</li> </ul>

### 環境 → P36

#### ■ 温暖化の影響による台風や局地的豪雨に対する浸水対策

第32期に実施したキャナルシティ博多での止水板更新及び新規設置に続き、第33期にはティサージュホテル那覇において台風による浸水への対策として止水板の新規設置を実施。

### 社会 → P37、38

#### ■ 投資対象エリアの街づくり・活性化支援

● 企業版ふるさと納税制度を活用し、計7都市への支援を実施。



### ガバナンス → P39

#### ■ 資産運用報酬体系の変更

● 2020年9月1日（第33期初）効力発生  
資産運用報酬額と投資主利益との連動性をより高めることを目的として、運用報酬1及び3の見直しを行う。

- ・運用報酬1  
決算期末総資産額に対する料率を 0.3% から 0.25% へ引き下げ
- ・運用報酬3  
運用報酬3支払前の分配金可能金額に対する料率を 2.0% から 3.6% へ引き上げ

### 外部認証と情報開示 → P35



#### ■ 「統合報告書2020」の発行（J-REIT唯一）



#### ■ 外部評価

● GRESB2020への参加



#### ■ グリーンビル認証

● グリーンビル認証取得率

